

年令一フビ山

フビ山はたしか美しい

昔の人にはフビ山は手を取らせり人がいれと不

考根二年の探~~遠~~遠足はフビ山だつた

山はついで河の知~~渡~~渡もなくいつもの~~遠~~遠足

つもりだつた

とんどもなれ 五合目から岩と石がゴク

どうしううお高い山道だつた

リエウを落つてもうい もう一人の~~先~~先

背中をおしともううて やつとこどつこい

だつた

フビ山はのぼるものごう

なまぬるものどわかつた

フビ山とこまなく後こつてり人は毎年の

るときいた

すくい人むいゝものと感心する

このごろ~~フビ~~山が年令はとにているうた

思つて~~フビ~~来た

自身来^春来九十おたなる

そますくまきつ来たんてすじいことびやね

と言う人がいっ

活して死ぬに果たせぬ

フジ~~山~~と同じだ

岩も石もどろく

ただ年よりの何回入り直し

いつまでも~~枯~~ありたいの気

このし年だ

そして年より何こう

う厚い人肉だと

若い昔へピヨ

今年で去来して

じかたが有り

の眼塔だ

フジ山は

年よりも固つた存在として

2021
8/2